

運用設計入門コース (ワークショップ 第3回)

運用の価値

運用設計ラーニング

2023-12-14

復習

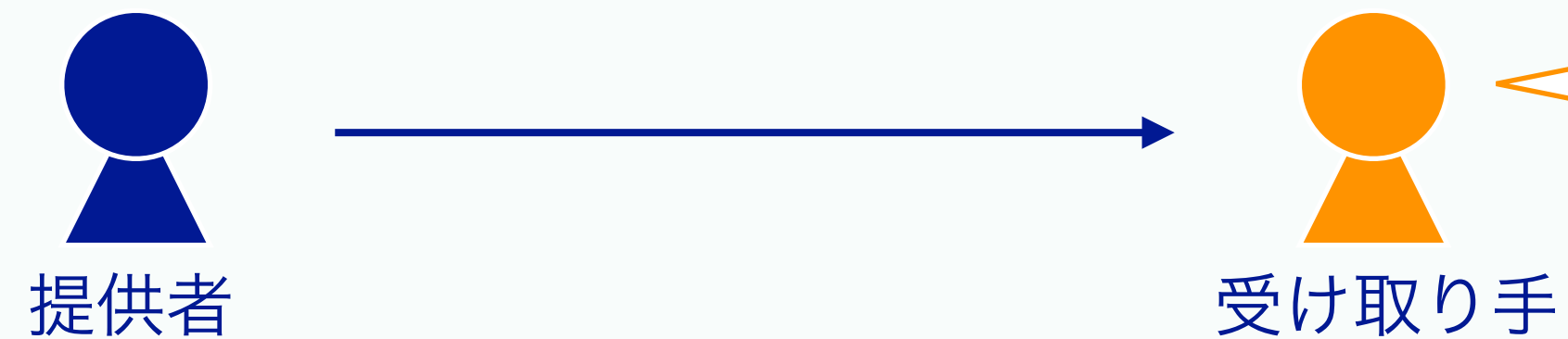
受け取り手によって異なる「価値」具体化のタイミング

受け取り手が
自分



価値は、提供時点で具体化する。

受け取り手が
他人



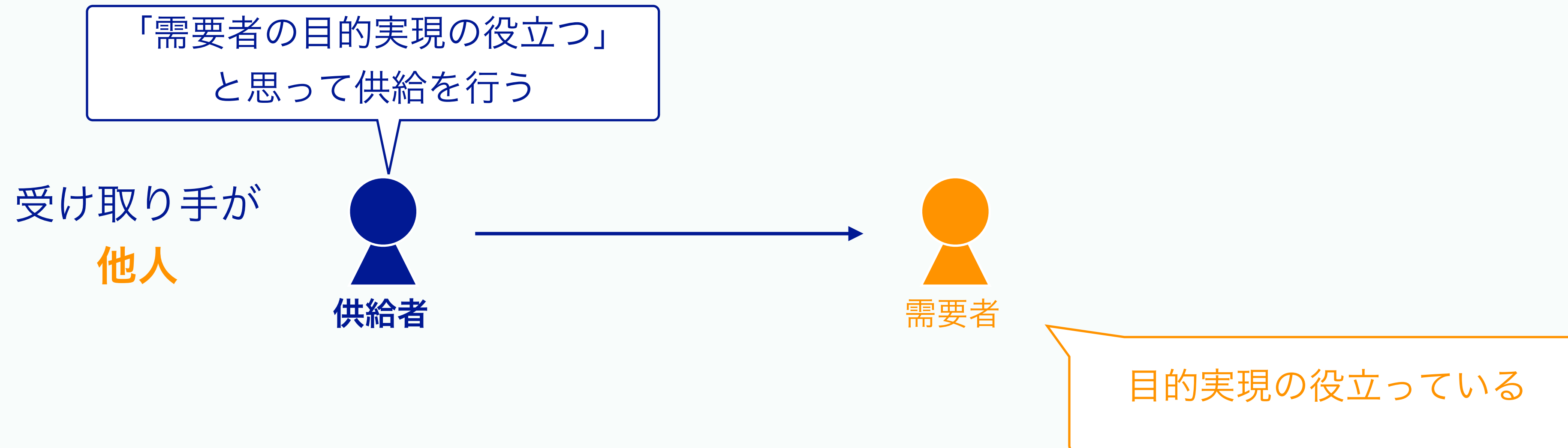
目的実現の役立っている

価値は、受け取り手が認識することで
はじめて具体化する。

受け取り手が認識しなければ、その価値はいつまでも具体化しない。

ビジネスにおける「価値」を明確にする

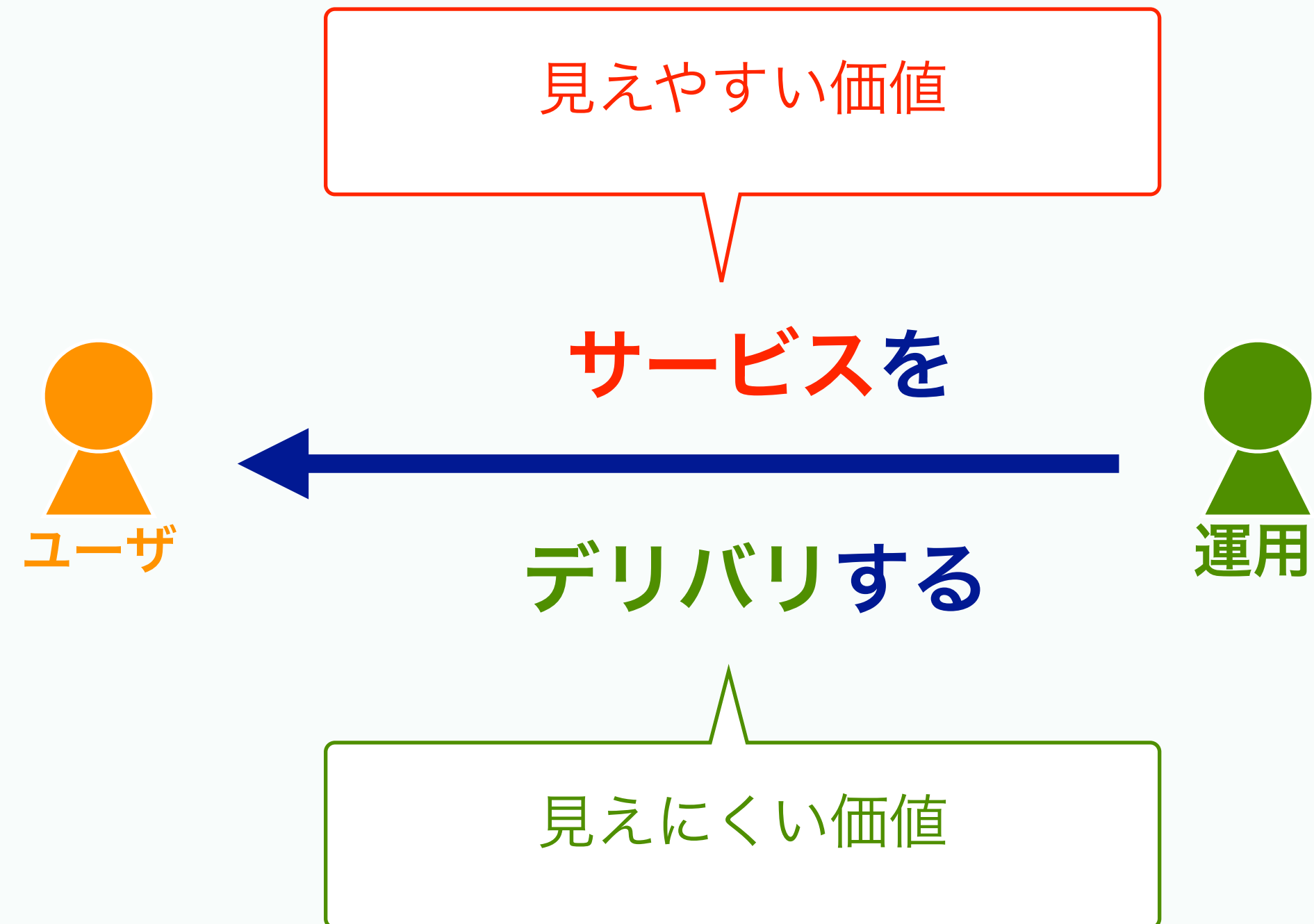
供給者は、**需要者の目的実現への貢献**をわかりやすく伝える必要がある。



ビジネスにおける価値は、受け取り手が**認識すること**ではじめて具体化する。

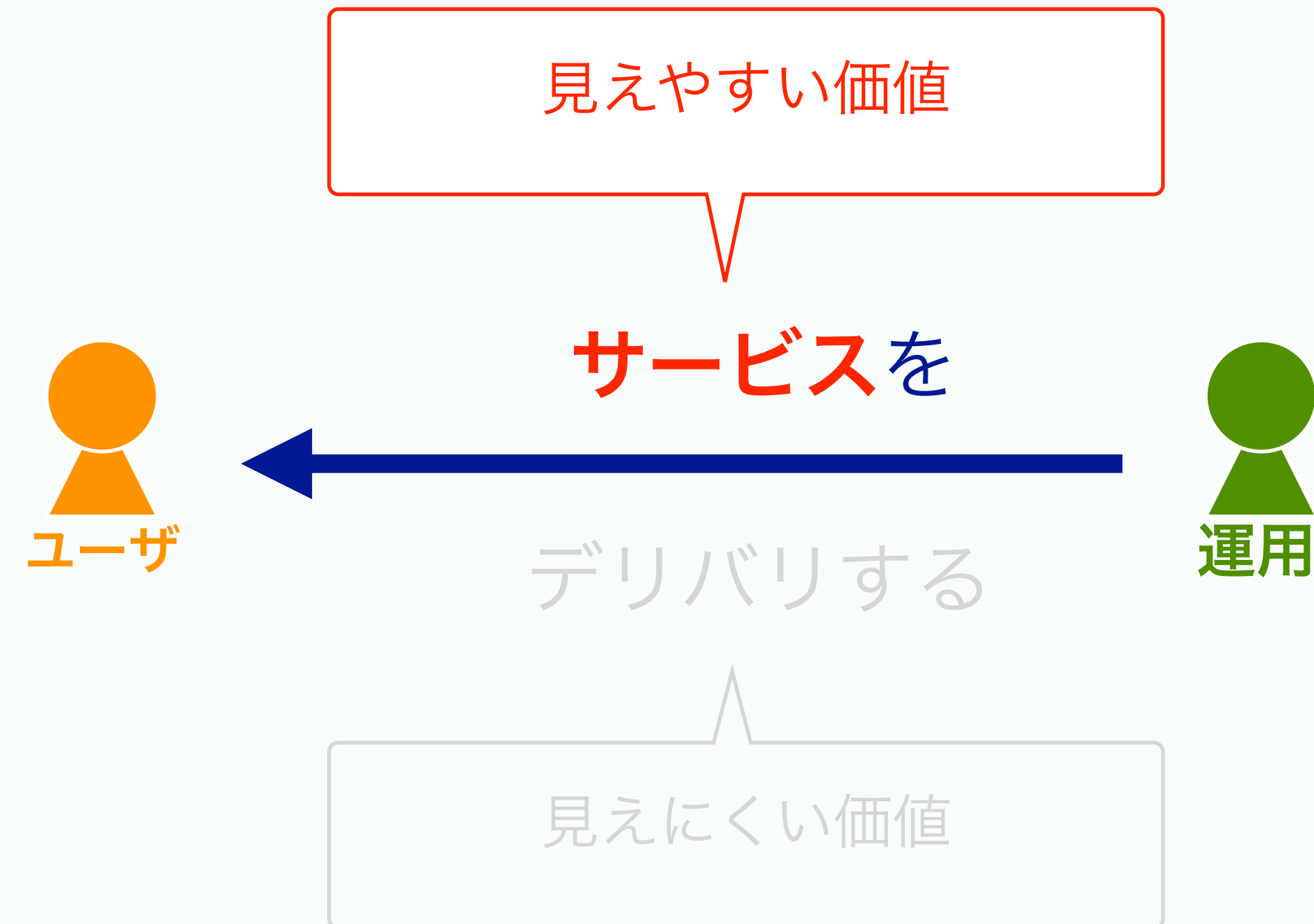
見える価値、見えにくい価値

ビジネスにおける価値は、受け取り手が**認識すること**ではじめて具体化する。



運用の「サービス」

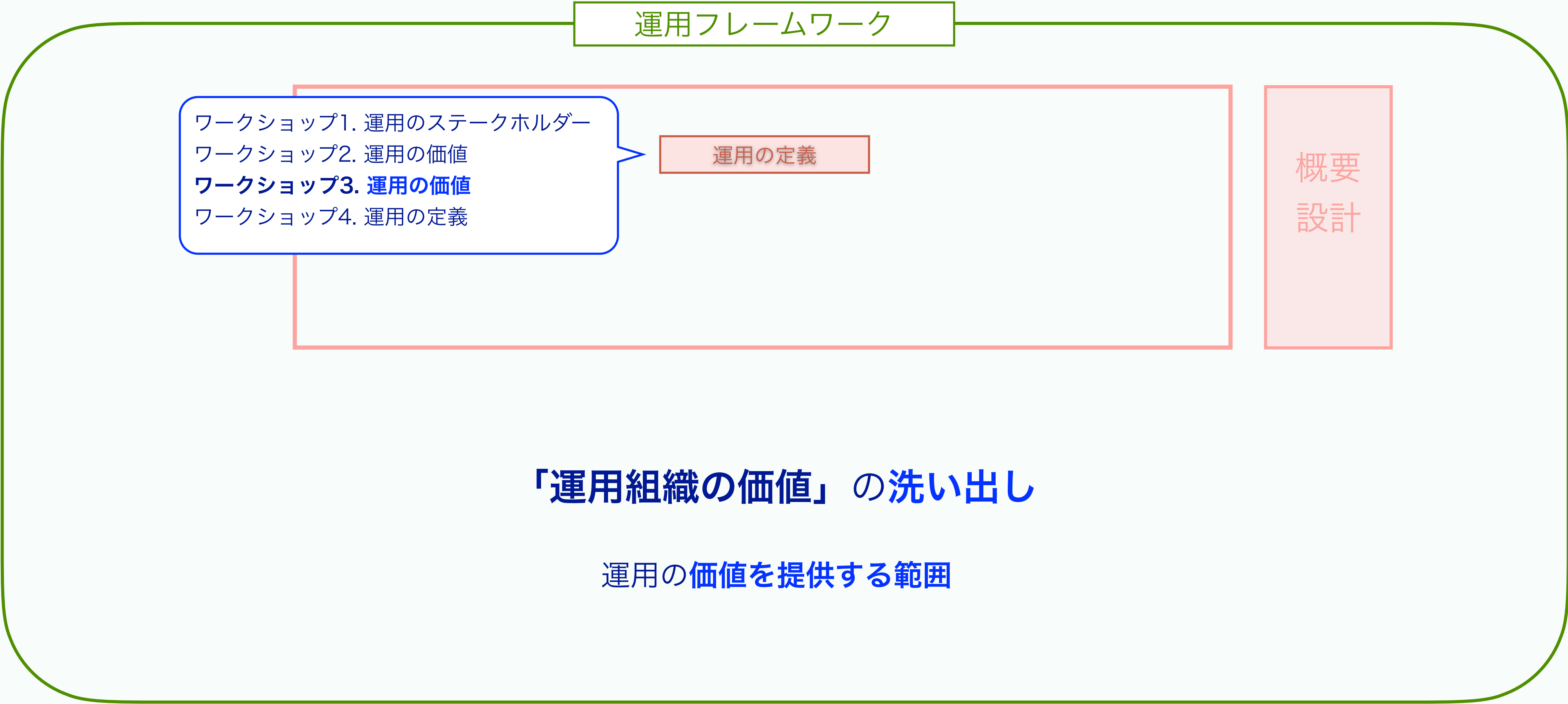
「事業継続のための課題」を解決するというサービスを
継続的にデリバリしている



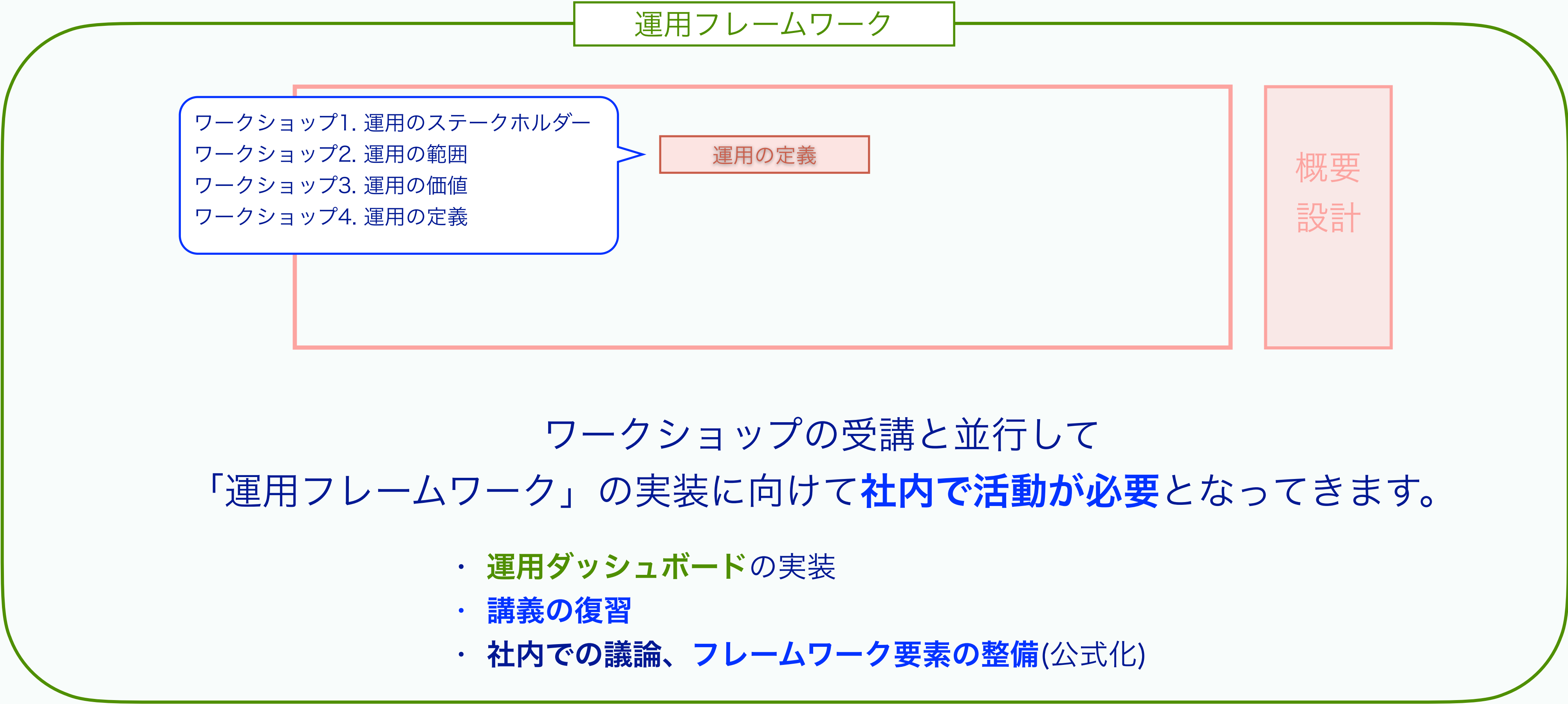
今回のワークショップでは、運用にとっても最も重要な「サービス価値」にフォーカスします。

学習ガイド

ワークショップの位置付け



ワークショップは「実務に向けた準備」

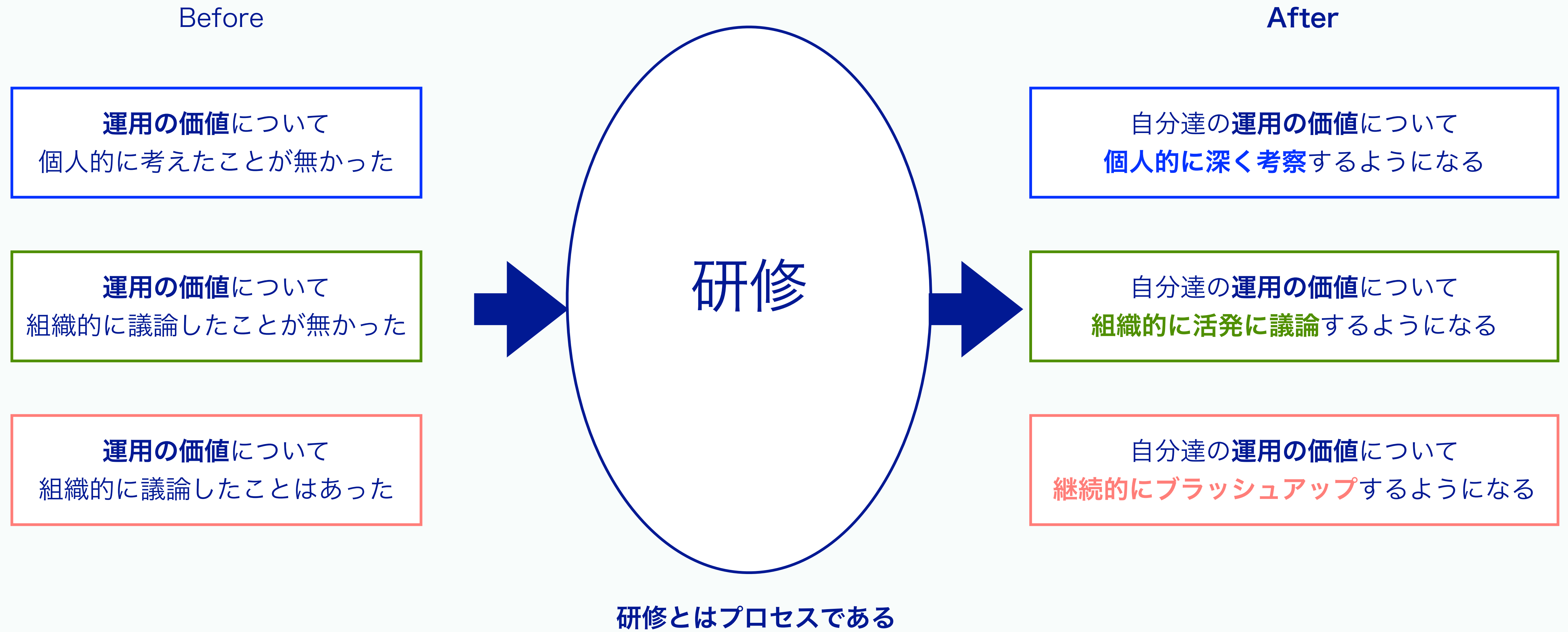


今回のワークショップのテーマ

「運用の価値」とは何か

「運用」は、ユーザーに対して
何(どのような価値)を提供していくべきか

研修による変化 (受講者への期待)



ワークの全体像

ワークの全体像

ワーク1. 価値を伝えるための項目

「運用の価値」をステークホルダーに伝えるためには、どのような項目が必要か分析します。

ワーク2. 価値を表現する

OpsLearnが考える「運用の価値」の要素について、ステークホルダーに伝わるように表現します。

オプションワーク: 独自項目について表現する

ワーク1で分析した項目のうち、ワーク2に無いものについて、ステークホルダーに伝わるように表現します。

ワーク1. 価値を伝えるための項目

価値を伝えるための項目

ワーク1. 価値を伝えるための項目

**「運用の価値」をステークホルダーに伝えるためには、
どのような項目が必要か分析します。**

- ・ 使用するファイル形式は自由です。(Excel / PowerPoint / メモ帳など)
- ・ 「運用サービス名」と「サービスの概要」は必須です。

ワーク2. 価値を表現する

価値を表現する

ワーク2. 価値を表現する

OpsLearnが考える「運用の価値」の要素について、
ステークホルダーに伝わるように表現します。

- ・ 「**運用価値**」シートをダウンロードして使用します。(URLは別途共有)
- ・ **太字の項目**を優先的に記述してください。

オプションワーク. 独自項目について表現する

独自項目について表現する

オプションワーク: 独自項目について表現する

ワーク1で分析した項目のうち、ワーク2に無いものについて、
ステークホルダーに伝わるように表現します。

- ・ ワーク1で分析した項目のうち、「運用の価値」として表現しやすい項目から優先的に記述してください。

成果物

成果物

運用価値シート

運用サービスの提供先と範囲に対する価値の明確化

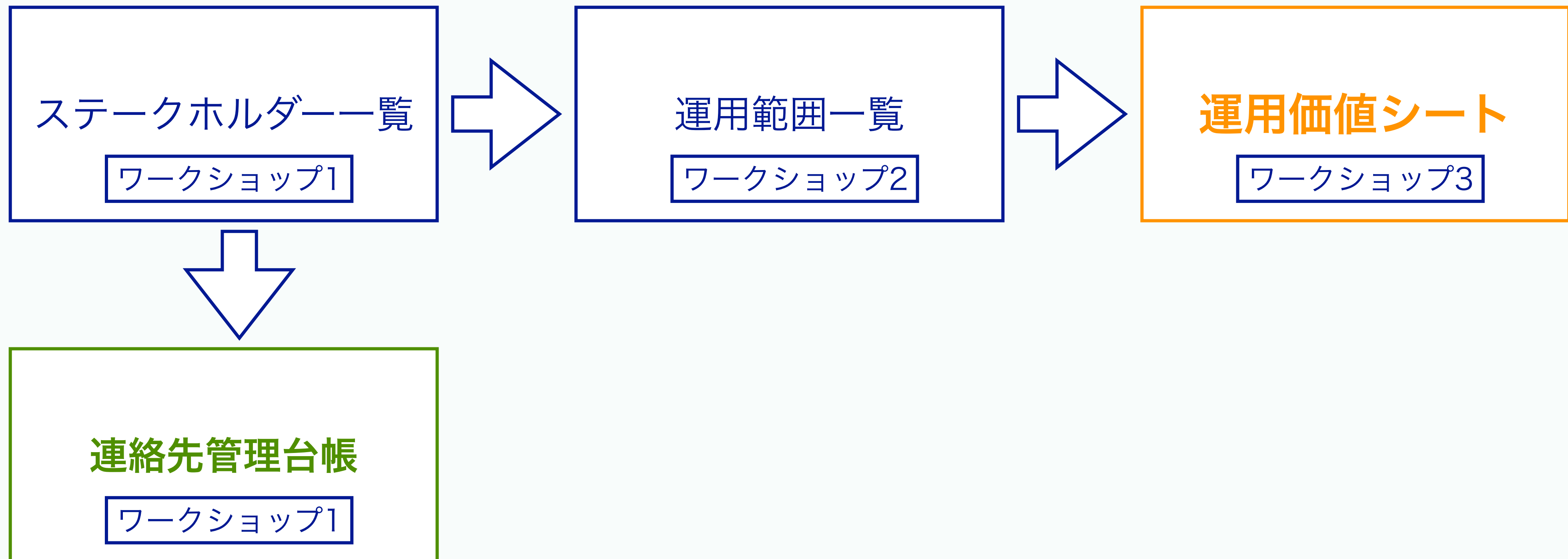
運用価値シート

(今回は、1つのサービスのみ)

これまでの成果物の位置付け

運用設計の流れ

運用サービスの提供先と範囲に対する価値の明確化



今後のアクション

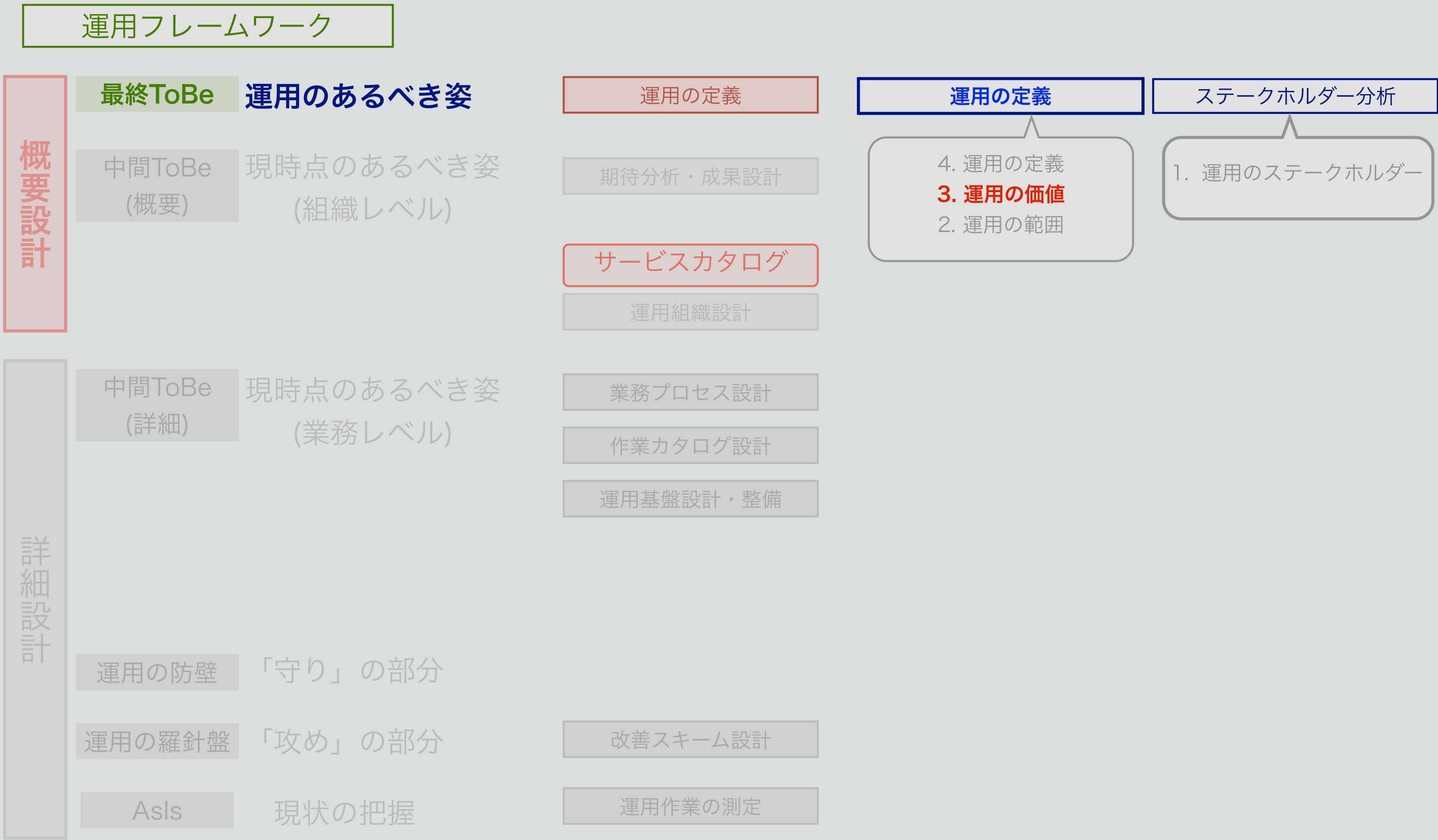
今後のアクション

自分達の「運用の価値」を明確化するために
「運用価値シート」を増やしていきましょう。

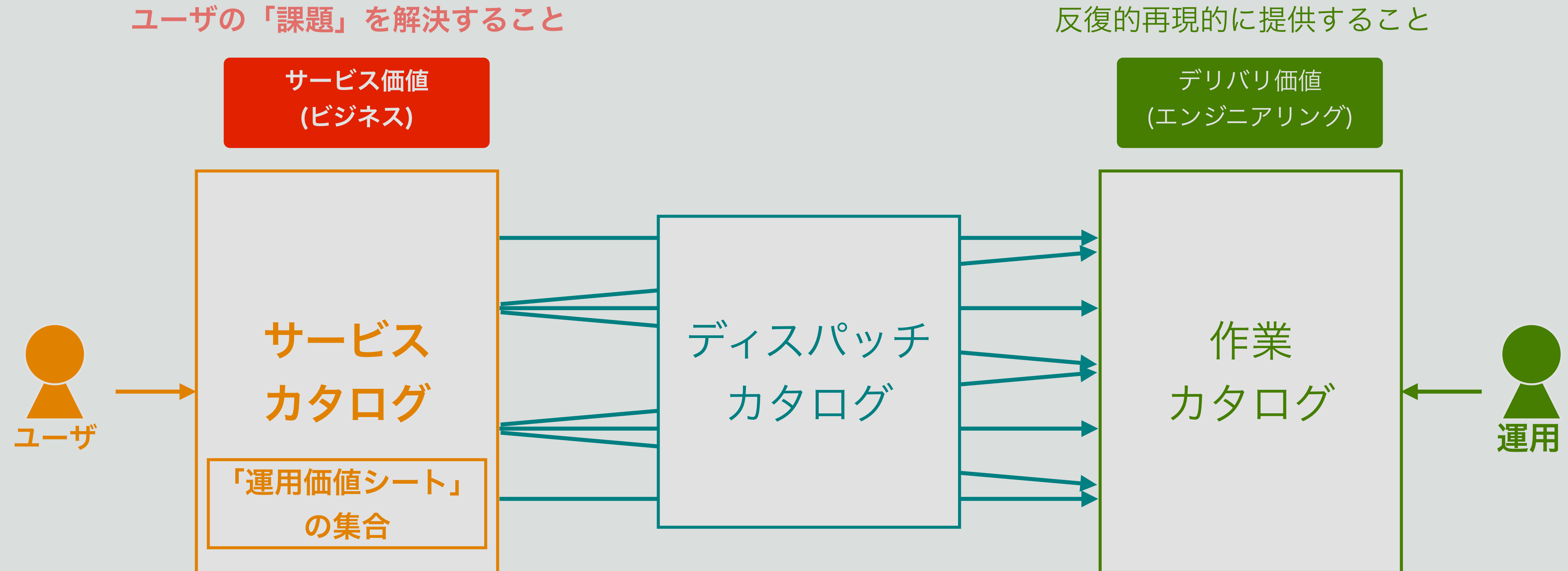


運用価値シート

参考：「運用の価値」と「サービスカタログ」



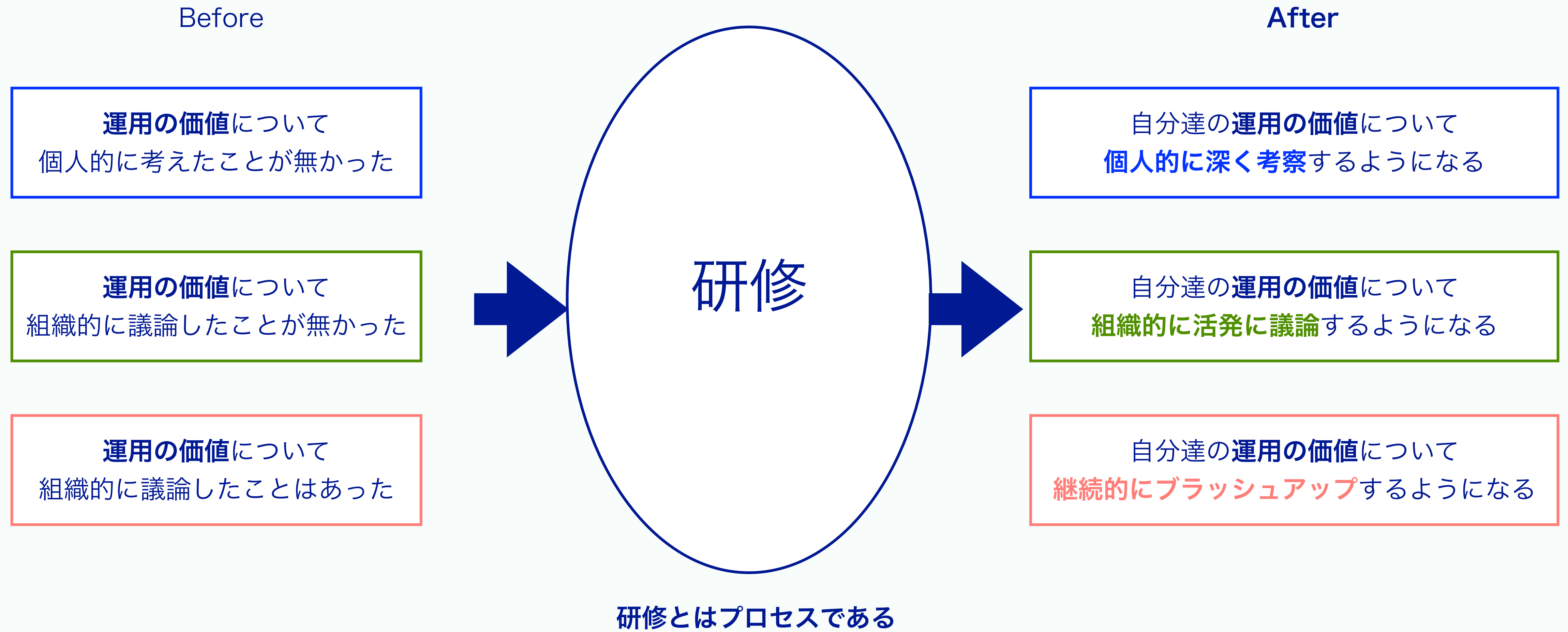
参考: 「運用の価値」と「サービスカタログ」



詳細は、来春リリース予定の「運用設計基本コース」で解説予定です。

講義のふりかえり

研修による変化 (受講者への期待)



今回のワークショップのテーマ

「運用の価値」とは何か

「運用」は、ユーザーに対して
何(どのような価値)を提供していくべきか

Operation 運用設計 Learning

<https://www.opslearn.jp/>